

鶴見区区政会議 平成27年度第2回 第1部会

1 日時

平成27年9月29日（火） 19時00分～20時17分

2 場所

鶴見区区役所4階 403・404会議室

3 出席者

（委員）

西田部会長、安間委員、大原委員、木村委員、宗宮委員、林委員、藤井委員

（区役所）

河村区長、萩副区長、奥本魅力創造課長、小川広報戦略担当課長、

筒井魅力創造課長代理

4 議題

1. 平成28年度鶴見区運営方針の方向性について

2. その他

5 議事

開会 19時00分

○奥本課長 皆さんこんばんは。ただいまから鶴見区区政会議平成27年度第2回第1部会を開会いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます魅力創造課長の奥本でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、河村区長から挨拶を申し上げます。

○河村区長 皆さん、こんばんは。お忙しいところ遅い時間にありがとうございます。区政会議もこのメンバーで2年間やってきていただいて最後の部会ということでございますけれども、今回は、27年度、まだ半分も経過しておりませんが、この間

やってきたことの振返りを含めて、また２８年度運営方針というのをつくっていかないといけない状況でございまして、その中で、皆様方からいろんなヒントなり考え方、またこの２年間を通じていろいろ思っておられること等あると思いますので、そのご忌憚のないご意見をお伺いして、また次年度以降の取組みにつなげていきたいと思っております。最後までよろしくお願いいたします。

○奥本課長　　まず、冒頭に定足数の確認をさせていただきます。

本日は、委員定数８名中、７名の委員のご出席をいただいておりますので、定足数は満たしておりますことを報告いたします。

また、本日は、市会議員の方もご出席いただいておりますので、紹介させていただきます。

土岐議員でございます。

○土岐議員　　皆さんこんばんは、よろしくお願いいたします。

○奥本課長　　なお、徳村府議、大橋市議、今井市議におかれましては、公務のためやむを得ずご欠席のご連絡をいただいております。

それでは、これより議事進行を西田部会長にお願いをいたします。

部会長よろしくお願いいたします。

○西田部会長　　それでは皆さんこんばんは。

ただいま区長のほうから話がありましたように、我々約２年ですね、第１部会ということで、皆さん方にはいろいろとお世話になりました。

今日が最後ということになり、来期もう既に新しい委員が決まっているそうですが、今後ともまた皆さん方の温かいご声援のほうもお願い申し上げたいと思います。

まず、会議の公開につきまして、本会は皆さんご存じのようにこれまでと同様全て公開としたいと思っております。ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

また、これまで、報道関係の写真撮影及び録画についても個人情報を含むなどの事

情がない限り議事開始後もご承認いただいておりますので、今回も同様の取り扱いとしたいと思います。

それでは、早速ではございますが、議案の1「平成28年度鶴見区運営方針の方向性について」事務局から説明していただきたいと思います。

○奥本課長 はい。本日は皆様方の机の上に資料を配付させていただいております。

「平成28年度鶴見区運営方針の方向性について」右肩資料2と書いておりますけども、そちらの資料をご覧いただきたいと思います。

経営課題の1といたしまして、魅力あふれるまちづくりにあたりまして、まず、現状でございます。

左の上のところに現状を、3つほど書かせていただいております。

1つ目ですが、昨年、鶴見区制は40周年を迎えました。1974年から2014年の40年間の人口を比較いたしますと、市内全域で人口が減少しておりますけれども、鶴見区では人口が増加をしております。その増加率ですけれども市内で4番目という高い値を示しております、かつ、年少人口の割合が市内24区の中で最も高いという特性がございます。

また、鶴見区では先日開催されました「区民まつり」をはじめ、鶴見緑地の清掃ボランティア活動「クリーングリーン鶴見緑地」、蛍の鑑賞会「ホタルの夕べ」を開催されるなど、地域の連携とか地域での活動が非常に活発でございます。

このような区の特性を活かして、鶴見区役所では、区民ニーズの高い音楽系イベントや子育て世帯対象のイベントをはじめとしたさまざまなイベントの開催をさせていただき、また、区内に散在しております名所旧跡にもスポットを当てた事業を実施するなど、さまざまな角度から区の魅力を発掘創造して情報発信していく取組みを行っております。

その右隣でございますけれども、現時点での課題をこちらに書かせていただいております。4つほど書かせていただいておりますけれども、まず一番上のところです。

区に深い愛着を持つことができる取組みを行っていく必要があると認識をしております。

2つ目でございます。イベントですけれども、一過性ではなく継続的に取り組むことで、イベントの認知度を高め、またマンネリ化にならないように開催内容につきましても精査整理していく必要があると認識をしております。

また、3つ目でございますけれども、区の魅力を高めるためには、イメージでもあります「花と緑のまち」、この花と緑のまちづくりや環境に関する施策をさらに推進していく必要があると考えております。

このようなイベントや事業に関する情報を、区が持っているさまざまな広報媒体を活用しまして広く発信し、区内外に向けて鶴見区の魅力を広くPRできるような取組み、これをより推進していく必要があると課題として認識をしております。

その中段でございますけれども、27年度取組みの方向性と書かせていただいております。27年度取組みを考えるにあたりまして、その方向性について、昨年、この第1部会でご議論いただきましたものをこちらに掲載をさせていただいております。

4つほど書かせていただいておりますけれども、1つ目が地域の活性化や鶴見区の魅力向上を創出するような取組みを推進していきます。

2つ目が区の歴史や誇り、まちの魅力を再認識する取組みを推進していきます。

3つ目ですけれども、環境への意識の高まりが区全体に広がるような取組みをさらに推進していきます。

4つ目ですけれども、利用者の皆様のニーズに合ったさまざまな情報発信に努めていきます。

このような取組みの方向性に基つきまして、その下でございますが、27年度の取組みを行っております。

その方向性に基づく2つの柱といたしまして、1つ目が地域資源を活用した魅力再発見の取組み、2つ目が「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みを推進とい

うふうに、2本立てで行っております。その上のほうの1つ目ですが、具体的な取り組みといたしまして、まちあるきの実施や、区の歴史に関する冊子発行を考えております。これにつきまして、現在と内容について精査をしているところでございます。

この10月、来月からですが、区役所のロビーを活用いたしましてコンサートを月1回開催していこうと考えております。

つるみブランドフェスティバルでございますが、こちらは、既に5月3日に鶴見緑地の花栈敷で開催しております。

その下の楽園会議のイベントは、来月ですが、楽園会議のボランティアの方たちの企画・運営によりまして、どろんこ王国というイベントを開催します。

このどろんこ王国は、区内にあります田んぼの中で、田んぼに水を入れてどろどろにした状態で子どもとその保護者の方が一緒にその田んぼの中に入って、いろいろな遊びをしていく企画を考えております。

農事体験プロジェクトは芋ほりでございます。抽せんで150組の方々に水やりとか除草をしていただいております。11月にその芋の収穫をしていただこうと考えております。

あと、ポップカルチャー講習会でコスプレの講習会を年7回程度やらせていただいております。

その下、鶴見緑地会場での光のイベントの実施ですが、これも昨年に引き続きまして12月の開催で、今いろいろと調整をしているところでございます。

その下ですが、国際庭園を会場とした国際交流の取り組みを、区民まつりと同時開催でワールドフェスタという形で、さまざまな国の方々のステージだとか、食の取り組みもさせていただきました。

あと、情報発信ですが、サイトによる情報発信を随時行っております。

2つ目ですが、「環境」と「花と緑」をキーワードにした取り組みの推進のところで、具体的取組として、環境フェスタの開催と書かせていただいております。こ

ちらは、南極で越冬隊員の方たちの体験とか、映像、また南極の寒さというんですかね、そういうものを実際に体験できるようなイベントにしようかなということで、今、調整をしているところでございます。

あと、環境学習会ですが、3回開催予定で今、進めております。

低炭素化の推進だとか、種花事業を12地域でやっていただいておりますけれども、こういった形の環境の取組みの支援もさせていただきます。

最後、下のほうですけれども、鶴見緑地の蛍の幼虫放流でございます。これ4月に緑地の緑のせせらぎのところで、幼虫の放流を幼稚園の方たちにさせていただきました。

また、風車の丘のチューリップ球根、再生品でございますけれども、こちらのチューリップの球根の配布につきましても今年度も実施しようと思っております。

こういった27年度の取組みを踏まえまして、来年28年度の取組みの方向性を右側に書かせていただいております。こちら4点ほどまとめて書かせていただいております。

まず1点目でございます。区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深められる取組みを引き続き実施したいと考えております。

その下ですけれども、考えられる取組みといたしまして、現在、先ほども申し上げましたけれども、区の歴史に関する冊子、「発見！！つる魅力」というタイトルの冊子を28年度の転入者の方に配付をしたいと思っております、その増刷を考えております。

そのほか、撮影体験イベントといたしまして、こちらはカメラメーカーのご協力を得まして、撮影素材が豊富な鶴見緑地でイベントの開催を検討しております、区の新たな魅力の創出につなげていきたいと考えております。

2つ目ですけれども、より魅力的で来場者や参加者の満足度が高いイベントを実施することで、にぎわいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組みを行うことですが、その考えられる取組みといたしまして、仮称で

ざいますが、スプリングフェスティバルを開催します。こちらは、2年前から、つるみブランドフェスティバルとして緑地の花栈敷のところ、大池の西側ですけれども、行っているイベントの内容を一新いたしまして、新たにスプリングフェスティバルとして開催していこうかなと考えております。

そのほか、楽園会議の企画イベント、これも開催します。こちらは前回の部会でも委員の方から、楽園会議につきまして、何らかの支援が必要ではないかというようなご意見がありましたので、28年度につきましては、その楽園会議の活動PRのための経費を充実していきたいと考えております。

そのほか、先ほど申し上げましたけれども、区民まつりの同時開催のワールドフェスタとか芋ほりの農事体験プロジェクト、またコスプレなどのポップカルチャー講習会などを開催していきます。

3つ目ですけれども、鶴見区の強みでもある花と緑のまちづくりへの活動参加者のすそ野を広げていくとともに、環境に関する活発な区民活動を支援していくというところで考えられる取組みといたしまして、種花活動でございます。今、今津中学校の横のところで花づくり広場を活動拠点にしておりますが、その複数拠点化、区の南側にありますので、区の北部でも拠点が設けられないかということで、今、緑地内で考えております。活動されている方の負担を軽減する面で、その活動事業の複数拠点化を考えていきたいと思っております。

あと、クリーングリーンだとか、鶴見緑地の蛍の幼虫放流もしていきたいと思っております。

4つ目でございます。区役所等の行政機関や地域などが有するさまざまな広報媒体を活用いたしまして、区の魅力PRに取り組むという点でございます。考えられる取組みといたしましては、情報サイトによる情報発信や広報紙、ホームページ、フェイスブックなどの情報発信、また「つるみっ子だより」の小学校の配布と、前回の部会でご意見がありましたけれども、公立小学校への配布を現在しておりますが、それ以

外の小学生、児童のお子様にも届くように、駅構内での区の情報コーナーでの配架だとか、商業集客施設のイオンでの区情報コーナーでの配架も新たに実施しました。また、区内に61カ所広報板がありますけれども、その広報板のほうにも現在は掲示させていただいております。

その他、区役所とか区内大規模商業施設や駅へのチラシの配布だとか、あと交通局の協力も得まして、地下鉄構内や車両のアナウンスなどで、区の魅力PRに努めていきたいと考えております。

以上が、28年度取組みの方向性として、現時点で考えていることでございます。

こちらにつきまして、皆様方のご意見などをいただきたいと思いますと思っております。

以上でございます。

○西田部会長 ただいま、事務局から魅力あふれるまちづくりということで、現状、課題、27年度の方向性から取組みにつきまして、28年度を取組みの方向性につきまして詳しく話をさせていただきました。それにつきまして、皆さん方委員さんのご意見をお聞きしたいと思しますので、どうぞお願いします。

遠慮なくお話をしていただきたいと思います。

○大原委員 よろしいですか。

○西田部会長 はい、どうぞ。

○大原委員 取組みに関して大事になってくるのが、以前からよく議論に挙がっているところだと思うんですけど、広報であったりあとボランティアの方の確保というのがあると自分は思っているんですけど、この取組みの方向性の中で、ボランティアという方があまり触れられてなかったんですけども、例えばこういった形でそのボランティアの方を確保していくであったりとか、妙案があったりとか、こういうようなことをやってみようだとか、そういったお考えって今のところあったりするんでしょうか。

○奥本課長 そうですね、以前も委員からボランティアのことについてご意見があ

ったと思うんですね。それにつきましては、区役所も今考えておりまして、先ほど申し上げましたどろんこ王国、10月24日に開催をするんですけれども、そのどろんこ王国のイベントにつきまして広報紙で、ボランティア、手伝っていただけませんかというような広報をしました。

また、楽園会議のメンバーさん、8名程度いらっしゃいますけれども、それも増やすという考えから、その楽園会議の活動PRにつきましても力を入れていってボランティアの活動を増やしていきたいというような支援をしていきたいと思います。

○大原委員 そういった機会を増やしていって、だんだんそういったボランティアの方をどんどん広げていくというか。

○奥本課長 そうですね。できましたら、そういう方たちでまたネットワークみたいなものをつくっていって、そのボランティアの方たちが1回だけではなくて複数回のイベント等にもご協力いただけるような仕組みみたいなものは考えていきたいと思っています。

○大原委員 私もほかの方から意見もいただいたことがあったんですが、ボランティアというのは、ご年配の方が中心になってしまうところがあったりするので、例えば中学校の生徒さんとかを授業の一環として鶴見緑地の清掃活動とかをするなどにして、ボランティアに対しての動機づけであったり、緑地をきれいにするという自分の気持ちの持ち方であったり、そういったところを養うために授業の一環として中学生にお願いするというのも、学校とタッグを組んでやってもいいんじゃないかなという意見を人からいただいたことがあったので、ちょっとここで今、話させていただきます。

○奥本課長 ありがとうございます。緑地で今、ご存じのようにクリーングリーン鶴見緑地という活動をしておりまして、平成23年から年2回開催をして、当初300名を超える方が参加をしていただいていたんですけれども、かなり最近は少なくなってきました、そういった清掃活動にご参加される方たちをどのようにお声がけをし

ていって増やしていけばいいのかなというのは、区役所でも考えております。大原委員がおっしゃったみたいに、中学校の生徒さんとかに呼びかけていってボランティアの動機づけ、おっしゃったみたいな形で何らかの働きかけができればいいなと思いました。

○大原委員 ありがとうございます。

○萩副区長 クリーングリーンなんかで言いますとね、子どもさんと親御さんと一緒に来ておられるんですね、ああいうのを大事にしたいと思っていましてね。ご近所に声をかけて来てもらうとかそういうのをぜひやってみたいと思っています。

○大原委員 お願いします。

○奥本課長 周りの方々はクリーングリーンのことをよくご存じの方は多いんですね。

○大原委員 うちの地域は多いかと思います。私も何度かお邪魔させていただいたし、子どもとも一緒に行かせていただいたんですけど、知らない人もやっぱり多いと思うんですね。どれだけそれをちょっと広げられるかというのが大事かなというふうに。

○奥本課長 どうすれば広がっていくようになりますかね。

○大原委員 どうすればというのはちょっと僕もピンとこないんですけど、ただそういう清掃活動へ行くことによって、自分の子どもはすごく鶴見緑地の、例えばごみとかに関してすごく意識が高くなったんですね。

○奥本課長 マナー向上にもつながっていくんですね。

○大原委員 そうですね。落ちたごみを自分で何も言わず拾うようになったり。教えられたことも多かったので、子どもたちがそういった意識を今よりもより一層持つというのを持ってもらえれば、もっと緑地がきれいになるのかなというふうに期待したいなと。

○奥本課長 そうですね、ありがとうございます。

○西田部会長　　今の話ね、我々の連合としても、ボランティアの募集とかいうことをいろいろやってますが、高齢化になってなかなか人が集まらない。これが現状です。大原君も私のところ、茨田南連合です。今、おっしゃるように、クリーングリーンとか子どもを交えた芋ほりとかああいうものについては、親子で来られるという有利な点があるんで、そのときは子どもも一緒に行きましていろいろ経験してもらったりして、うちも小学校の防災訓練をやるんですけれども、これについても子どもにやはり、例えば煙中訓練とかいろいろやるんですけれども、現実には体験させていろいろ知らせることが大事になるんで、ボランティアの中身にもよりますけれども、できるだけ親子でいけるようなものを必ず親子で出席してもらって、経験してもらうということが絶対大事やと思う。今後、これから特に、我々も連合としても、中学生あたりの人をできるだけ対象に、例えば、ちょっと余談ですけど来月、祭りがあります、だんじりが。大体ああいう祭りが好きな子もたくさんおるんですよ。それで同級生の子どもを呼んでくるとか、友達を連れてくるとかいうことで1人でも多く出てきて非常ににぎやかに、そういう形でやはり友達が友達を呼んで来るということで、輪を広げていくというような形が一番、これからのボランティアについても大事なかなというふうに、連合としても我々も考えているところですので、皆さん方のほうも、どこの連合もそうですけども、もう今、例えばふれあい喫茶一つにしても、ちょっと余談になりますが、年配で食事されたにしても、ボランティアに来て手伝ってくれる方が逆に見てもらわんといかんというような状況なんです。そういう面ですごく困っているというか、少ないので大変であるということが現実なんで。今後とも今、大原君が言うように、中学生とか小学生、親子で一緒にね、そういうふうに行っていくような授業というか、クリーングリーンなら特にそうですわ。これはもう見本になると思いますのでいいことかなというふうに思いますけれど、そのあたりも頭入れながらボランティアを進めていきたいなというふうに思います。はい。

また、皆さんのほうでどうぞ。

○藤井委員 続いてなんですけど。

○西田部会長 どうぞどうぞ。

○藤井委員 多分そのクリーングリーン活動と同じように環境面を考えるという上では、先ほどおっしゃったように世代を超えて組んでいけると思う。小さい年代、幼稚園、保育園の年代からでも、お母さんたちも若いので、お母さん、お父さんを交えてという活動で十分活動していけると思うので、幼稚園、保育園の団体も合わせて、もちろん小学校、中学校と学習面の内容として入れていけないのかなと。そのお話は区役所から持って行ったりはできないんですかね。環境を考えるという面では、教育的活動には絶対必須なんで、入ると思うんですよ。そういう面で問いかけて、ご協力いただけませんかという活動の連携をとられたらいいんじゃないかなと、ちょっとかねがね思っていました。

○奥本課長 小学校の環境の副読本で今、教えていると思うんですが。一般的な環境というのにも必要だと思うんですけども、緑地を活用してとか、そういう区の特有の地域資源を活用して実際に活動していただくというのは、非常にいいことだと思いますね。

○河村区長 今、小学校、中学校対象に出前授業というのをやらせてもらっていて、年十何回やっているんですけども、そんな中でも、去年で言うと、UNEPさんの協力を得て環境についての勉強もしていますので、そういったところでもこういう取組みをPRしたり、参加を促すというのは、ぜひやっていきたいなと思います。

○西田部会長 よろしいですか。

○藤井委員 はい。

○西田部会長 宗宮さん、どうぞ。

○宗宮委員 区役所がこういったイベントで魅力あるまちづくりのためにいろんな企画をされているというのは、やっぱり大きく区の動き自体も変わってきたということで、評価して、いい動きやなど、流れやなどというふうには思ってるんですけども、

まちづくりをしていくためのイベントということで、幅広いテーマでいろんな動きをつくっていくということを一通りやってきた中で、あと、すそ野を広げるとかあるいは継続性を持たせるというふうなことになるれば、区役所が主催で区役所限りですみますよ、企画・立案から実際の運営まで区役所がいつまでもやってますよというふうなことをやってると、なかなか市民や新しい若い担い手を一緒になって巻き込んでいくという動きにやっぱりならないというふうに思いますので、区役所はテーマとか、基本的には予算ですね、そこを確保したら、後は市民に任せるぐらいの度量を持って、NPOを巻き込んで取り込んでくるとか、新しい軸の中で区役所が予定しているんですよと、市民の皆さんこういうテーマについて何か提案をして区と一緒にやって、区のその資産を活用しながら一緒に魅力あるまちづくりをしませんかというような企画・立案の流れの中へ、ちょっとステージを上げていってもらわないと。例えば、光の花栈敷なんか、実際にホームページとかを見てもすばらしい取組みなんですけれども、やっぱり運営の中に、市民がそこで運営スタッフとして主体的に参加してるというのが見えない。いろんなここに書いてあるようなイベントの一つずつについて、今、花栈敷だけ取り上げたけれど、ほかのことについてもやっぱりそうで、区役所がある程度リードしてそのイベントをつくるというようなことは、今までにない取組みを市民がいきなりというのは無理なわけで、そういう意味で言えば、既にそのレベルというのは区役所がやってこられたと思いますので、これからの方向性としては、今までやってきたやつをもっとそういうところで、仕掛けをつくった後は、実際に動かすのは市民なんだよというようなスタンスを区のほうが発信していただくというふうなことが大事なんじゃないかなというふうに思います。

そういった意味では、大阪鶴見ええまちネットであるだとか、例えばこの間、東淀川で若い人たちが花火を5分間上げたというのが結構マスコミで取り上げられたりして、今、東淀川のほうの人と話をすることがあるんですけども、あれはどこで誰がやっと思ったんやという話題性がわずか5分の花火でものすごい盛り上がってるという状

況がありますよね。あれは区は協力はしているけれども、主催とかいうようなことではなかったやろうとは思いますが、区のほうからの情報としては流れてたよと思うんですよね。地域でまちづくりとかまちおこしとか考えている若い人たちが鶴見区にはいっぱいいるはずですから、そこをどうして取り込んでいくのかというところで考えていかないと、クリーングリーンにしても本当にいい動きやったと思うんですが、やっぱりこれが継続していくというのは非常に難しくて、動員型になっちゃうとたちまちしぼんでしまいますよね。例えば大阪城なんかで鎧兜、真っ赤っかな真田の侍みたいな格好で、火ばさみでごみを拾っていくというようなことをテーマにしている市民グループありましたよね。クリーングリーンを長いこと続けていく中で、鶴見緑地で育っていないという状況をクリーングリーンの問題というふうに考えたときには、ああいう団体をクリーングリーンの中で、鶴見緑地の中で育てるんだという目線をやっぱり区役所が発信していけへんかったらあかんの違うかなというふうにちょっと思っていて、来年に向けてという方向については、テーマとメニューについては非常にオーケーというふうに思う。ただ、その運営の仕方として、その味つけをさらに強化していってほしいと思います。

○奥本課長 ありがとうございます。イベントとか事業の取組みにあたりまして、我々も区民の皆様のニーズが必要ですから、そういうことを把握いたしまして、実施を考えております。当然、区役所単独でやっていくというイベントは非常に限界がありますので、地域との連携というのは非常に重要だと思っております。

その一つなんですけれども、先ほど申し上げました楽園会議というボランティアが今、7、8名ぐらいいらっしゃるんですけども、その方たちは企画から運営まで全て自分たちで毎月1回ここに集まっていただいて、いろんな意見やアイデアを出していただいて、こんなことしようや、あんなことしようやと言って、考えるだけではなくて実際イベントも携わっていただいている。その方たちが初めから終わりまで全てやりますということで2年前からやっていただいております、今回で3回目のイベン

ト開催になるんですけれども、非常に熱心にこの活動をしていただいております。その方たちが今後増えていけば、非常にいろんな区民の皆さんのやりたいこととかしたいことなどを実のあるものにしていけるのかなと。それについて、区役所といたしましても当然支援もしていきたいと思ひまして、その活動がより継続性を持って充実していくために今回、28年度につきましては、その活動PRのための経費も充実させていただいて、予算につきましても考えていきたいと思ひています。

○萩副区長 昨日の第2部会でもご意見いただいたんですけどね、何でもっと地域を信頼してくれへんねん、何でもしらにもっと相談してくれへんねんとかいうご意見もいただいていますので、何ができるか十分考えてやっていきたいと思ひています。よろしくお祈いします。

○西田部会長 そうですか、はい。

○奥本課長 この間、区民まつりと同時開催でワールドフェスタをやったんですが、今まで国際庭園でなかなかイベントをしていなかったのひ、花博が終わって25年たって国際庭園にスポットを当てる意味で、今回ワールドフェスタを開催させていただいたんですけれども、あのイベントに行かれた方はいらっしゃいますか。

○西田部会長 よかったよ。

○奥本課長 ありがとうございます。

○西田部会長 区民まつりの開会式と同じ時間帯やったからね、ちょっとな、つらいとこあったわな。気の毒やけど、区民まつりのほうにやっぱり人が集まってるから、ワールドフェスタの開会式に出席した副区長が一番わかるんじゃない。

○萩副区長 ちょっとさびしかったです、はい。

○西田部会長 それは、言うことないですよ。うん。後でよせてもらったんですけど。

○奥本課長 ありがとうございます。

○西田部会長 フラダンスでもすごかったよ。今福鶴見の。

○奥本課長 フラダンスの方たちは。

○西田部会長 親子3代でやってる。下の娘さん、上手に踊ってましたよ。ほんと魅力あるよね、フラダンスね。楽しかったですよ。フラもまた来年も続けてもらって、これはね。ダンスにこだわらんけども。

○奥本課長 今、おっしゃったように同時時間帯の開催でしたので、あのイベントが終わった後、今、副区長が申し上げましたけれども、開会식을ちょっとずらすとかです、課内でもいろいろと検討しまして、来年どうしていくべきかというのを考えていこうと思っています。

○萩副区長 当然テントも要りますしね、暑かったですね。

○西田部会長 暑かったですね。

○宗宮委員 ちょっとワールドフェスタのことやけどね。ワールドフェスタの企画自体は、その前のアウトドアイベントで榎本を通して近大の学生が企画していたのとはほぼ同内容だったんですよ。別に同内容がええとか悪いとかいう話ではなくて、このワールドフェスタの企画をされるにあたって、内容を見ていたら例えば留学生をもっと活用するとか、そういう意味で言ったら、関西外大とか大阪外大とか、大学の留学生って本当に今たくさんいますよね、そういうところに学生を通じて広げていく。ロハスのメンバーが前回、近大生を呼んだとき、ロハスのグループの担い手とうちの寺子屋のメンバーでこのアウトドアフェスタのときに取組みをしてくれたんですよ。そのロハスのメンバーの中には、いろんな大学の人が参加してるから、そういう学生のチャンネルを使ったら確かにダンスを踊ってくれてはる幾つかの国のダンシングチームとか、配置してるというのはあったやろうけど、もし大学生のそういうチームにこの企画の段階でもう少し早目に声をかけてやってはったら、もう一回りも二回りも味が変わったような内容で強化できたんちゃうかなというのを実際僕も会って思っていて、そういう意味で言ったら、ワールドフェスタの企画の段階で、参加可能な人たちがおるわけやから、そこにもっと声をかけてもらったら、ずっとあそこの国際庭園の

活用の仕方といって、区役所がついてるわけやから、学生の声掛けの仕方というのは、やっぱり1カ月、2カ月前では無理ですけども、そういったチャンネルを通じたら各外国の、もう後になってますけれども、そこに配置するとかね。もう少し一ひねり、二ひねりが可能やったんちゃうかなというのは、来年に向けて続くのであればぜひそういうことをやってもらいたいと思います。

○奥本課長 ありがとうございます。

○西田部会長 榎本連合はね、皆さんご存じのように、いろんな行事の中で高校生、大学生の取組みがたくさんあるんですよ。役所のほうからまた宗宮委員じゃないけども、連合の方にそういうことを話しすることによって、いろいろとつながりができると思うのでね、そういう相談もしなはれ、これからもね。大事だと思うわ。この広い区の中で、誰か必ずそういうつながりがあるんで、持ってますんでね。例えば町内会議でも連長会議でもええやん、そういうことをやるためには皆さんのほうで紹介してくれるようなそういうところないですかとか、ちょっと一言聞いて進んでいったらもっと、今、おっしゃるように非常に多くの人が集まることができると思います。宗宮さん、そうでしょ。

○奥本課長 また、教えていただければ。

○西田部会長 相談してください。

○奥本課長 そうですね。今回、大阪の国際交流センターにまず話をしまして、そこから学生支援機構をご紹介いただいて、いろいろと留学生と調整をしたんですけどね。

○西田部会長 いろいろご存じですので、役所の方はね、それがあって我々逆に、今言った逆のこと、我々がお聞きして紹介してくださいよというのが多いけど、またそれはそれでお互いに。

○奥本課長 そうですね。またご存じの方がいらっしゃれば、宗宮委員にも教えていただければ。出演される方とか、参加される方というのは、これからどんどん増え

ていけばより内容もおもしろくなっていきますので。

○西田部会長　　そうですね、はい。

○奥本課長　　区民まつりと相乗効果で一大イベントになるのかなと思ってますのでまたいろいろと教えていただければ。

○西田部会長　　それでは、安間委員。

○安間委員　　一つは、このいろんなコンサートとか、今のようなどろんこ王国とかおやりになってますけれども、ふつうこれに人数がどれぐらい参加してるかというような数が書けたらちょっと大きさがわかってくると思うんですけれど。

○奥本課長　　そうですね。

○安間委員　　それは、そのときによって違うかも知れませんがね。

まず、一つは人数を集めなあかんということもあるでしょうし、それからもちろん人数の大小にかかわらずこれは非常に重要な企画やというのも、そちらから見たり我々から見てもあると思うので、それとの順位がどういうふうになるのかというふうなところで、取組みがある程度見えてくるのかなというような気がするんですね。

それから後、やっぱり、このお金がそれに絡んでくると思うんで、私らも蛍の幼虫放流みたいなことをライオンズでやりましたけどね、それ一つにしても、10万近く金が簡単なあれでも出ていきよるから、やっぱりどこかスポンサーがおらないかん場合と、役所からお金が出るのか出ないのかというのはちょっと僕らはわからんですけれども、予算に組み込まれるものと、組み込まれずにあまりお金の要らないものもあると思うんですけどね、それもちょうとセレクトしてうまく分けて説明されともう少しわかりやすいというのと、この27年度にしても、もう半年きてもうあと半分ぐらい。今、話を聞いていると、何回かやろうと思っていますというような話が出たんで、思ってるだけで終わっちゃうかもしれないというような気もせんでもないんですけれども、具体的にいつといつとにどうやるんやというようなことがわかれば、それもちょうと書いておいていただければありがたいと思う。

それからこの冊子の発行というのがありますけど、これはまだですね。つくっては
るとこ。

○奥本課長 作成の途中ですね。ですから今、どのような内容にしようかと調整し
ています。

○安間委員 中身をまだ検討しながらやるいうところで。

○奥本課長 そうです。

○安間委員 そうすると今年中ぐらいには発行できるんですかね。何ぼぐらいつく
りはるん。

○奥本課長 4万8,000部です。全戸配布します。年度内です。ほか、小学校
にも教材として使えるような形で活用も考えてます。

○安間委員 年度内。

○奥本課長 年度内に作成、配布します。

魅力という観点で鶴見区のさまざまな名所、旧跡にもスポットを当てて掘り起こし
ていき、一つにまとめていって、皆様方がそれを見ると鶴見区ってこんないいところ
があるということがわかるような内容にしていきたいと思っているんですね。

○安間委員 それとこういうイベントが必ずどこかで今日こんなことやってますよ
というのは、展示されている、明示というのかな、どこかで。例えば地下鉄降りたと
ころのあそこへ出たら真正面に、今日は何してますよというようなこととか来週こん
なんしますよみたいなことは、どこか見れば、その看板を見れば、必ず我々でもわ
かるというふうな仕掛けはあるんですか。

○奥本課長 そうですね、区内の今福鶴見・横堤・鶴見緑地駅のところに区の情報
コーナー、掲示板を設けておりまして、そこに当然広報紙も貼りますし、チラシも配
架して、情報のPRには努めています。フェイスブックでも今日開催しますよと事前
告知ですね、2、3日前から何度かはしています。

いろいろと広報もしているわけなんですけど、広報紙とかホームページだとかフェ

イスブックだとかチラシも一応区役所で考えられることはしているんですけど、ほかにこういうことをすればもっとイベントの周知につながるよとか、いい妙案みたいなものはないですかね。どんどんイベント情報が伝わっていくような、何かそういうアイデアみたいなものがあれば教えていただきたいと思うんです。

○安間委員 いろんなイベント専門の新聞に1枚入れるようなチラシみたいなのをつくって、どれだけ費用かかるかみたいなことはありますけど、それをぽっとしてたら、2、3カ月の間にこういうなんがあるねということが、例えばわかるような方法とかもあるのかなという気がするんですけどね。

それと今、場所と言いましたけど、その場所って、例えばどこかホテルへ行って何かのイベントをやっているとすれば、案内状にきっちり書いてあって、それを見といたらいいんですけど、見ないで行ったら今日、会議はどこであったかなというたら、看板を見ると何階の何とかの部屋でライオンズクラブの会合をやっていますよみたいなことがあって、ああここやった、ここやったと行くわけですけどね、それがいつも同じような、花博の信号を渡ったところにばーんと書いてあって、そこを見たらいつでも今日は何をやっているかわかるというようなことで、誰もがそこへ行けばわかるというようなことをすればだんだん定着してくるん違うかなという気もするし、あんなだけの広いところやから、違うところへ行っちゃったら多分、そんなんあったんということもあるんじゃないかという気がするんですけどね。それとその地図で、A地区でこれをやっているよ、B地区ではこれ、といったような、大まかな区割りがあったら、もう少しわかりやすいかなというような気がするんですけどね。

○奥本課長 公園入口にその案内板みたいなものがあって、今日の催し物はこんなんやってますとかですね。

○安間委員 それが毎日変わったり、二つも三つもあったらどうすんのかいなということもありますけれどもね。

○奥本課長 なるほどそうですね。統一したものがあれば非常にわかりやすいです

ね。

○安間委員 じゃないかと思うんですけどね。

○西田部会長 大きな看板を立ててやな、周知できるようにしたってや。

○奥本課長 そうですね、鶴見緑地駅降りたところでもそういうものもあればおもしろいですね。

○河村区長 そうですね、確かに。この前ワールドフェスタをやったときに思ったのは、鶴見緑地の駅を出たところの広場になっているところをP Rの場に、それこそ大きい看板でも置いて。

○安間委員 あそこは使えるんですか。

○河村区長 それがちょっと交通局と話をせなあかんのですけどね。

○安間委員 そんなんがようよう来て思うようにいかへんとかね。

○河村区長 信号渡ったところに置いてとすると、人の流れも誘導できるかなという。

○西田部会長 それじゃあ、考えてもらいましょう。

○奥本課長 そうですね。

○西田部会長 ほかに林さん。

○林委員 何にも参加させてもらってないから勉強不足やと思ってます。区民まつりのときも国際庭園まで行ってませんので。

○西田部会長 木村委員、何かあったら。

○木村委員 そうですね、全体に活発にいろいろやっていこうという姿勢が見えて非常にいいとは思うんですけども、全部が全部、力を入れるとどこかでこじれそうな気がしますんで、ある程度、主な項目をピックアップしてそこに力を入れるというほうが方向性としてはいいのかなという、個人的な見解ですけども。

あれもこれも全部やりたいとなると、なかなかどっちつかずになることもあると思うので。

○奥本課長 そうですね。

○木村委員 その辺をちょっと考えていったら、もっと伸びるとこはずっと伸びていくでしょうし。

○奥本課長 ありがとうございます。

○木村委員 要らんもんはないんでしょうけどね。

○奥本課長 いろいろといろんなイベントもさせていただいてまして、いろんな取組みをさせていただいています。これをずっとやっていくということではなくて、いろいろイベントでも内容を精査して行って、くっつけられるんやったらくっつけていくとか、新しいものをそこから生み出していくとか、いろいろと変えていかないといけないと思います。

ですから、今、10やっているものを、来年もまた同じものを10やります、再来年も同じものを10やりますということではなくて、その数が増えたり減ったりするんでしょうけれども、内容についてより区民の皆さんがおもしろかったなとか、これはためになるな、参加したいな、手伝いたいな、一緒にやりたいなというような形でそのイベントが区民の皆様のものになるというような、そうなっていけば本物なのかなと思っています。

○木村委員 そうですね。すみません、以上です、はい。

○西田部会長 すみません、よろしい。

○木村委員 はい、結構です。

○西田部会長 はい。そのほか何か。

○奥本課長 お聞きしてもよろしいですか。

種花活動をずっと女性会の皆さんを中心にやっていただいているんですけれども、今、ボランティアの皆様が180名程度いらっしゃるんですけれども、固定化というんですかね、同じ方がずっとされているということもありまして、今津のほうまで行くのに水やりがちょっと大変ということで、区役所でも先ほど申し上げた拠点の複数

化というか、南のほうは今津でありますし、北のほうは緑地にあります、そんな形で分けたらどうですかということをお話させていただいてるんですけども、やはり、ボランティアの方のすそ野を広げるというんですかね、花が好きな若い世代の方たちがどうすれば参加できるかなといろいろと考えておりまして、そのことについてちょっとお知恵をお借りできたらなと思うんですけど。

○西田部会長　私もそれで悩んでますねん、連合として。今津まで行くのに危ないんです、自転車です。年配が年いってるから遠くに自転車で行くのは危ないと、そうかという和我々が送っていくわけにはいかんし、これは来年の夏になったらほとんど交代で水やりやってますわな。

おかげさんで榎本の木村会長が非常に、あの人熱心やからな、大概水やり毎日のようにやっているから助かるけどね。だけど、うちのもん、花についても好きな人を募集しているわけですよ。ところが今は、話に出てるように若い人がおれへんねん。おれへんっておかしいけど、募集してるんやけど、若い人で。まして普段になかなか行かれんというようなこともあって、今のうちのメンバーも行ける人というたら、男が2人と、女性が5人、7人入ってますねんけど、非常に困ってますねん。だから今おっしゃるようにできたら、こちらのほうで植えるところがあれば助かるなと思ってますんやわ。その話ししたかってんけど。

○宗宮委員　僕は、この種植えの初期のときには日曜日に水やりとか植えつけとかいうのをちょっとやっていて、日曜日ばかりはもう数が足りているということでおりにさせてもらったんですけども、この事業が始まる時には種花の基地やと、この基地で苗ができて鶴見区内の町を全部緑にしていく、花いっぱいにしていくねんといううたい文句やった。ところが榎本でも、この苗を町中にといたときに、基地としてその花がどこへ行っているのかというのが見えないと、ここで育てたやつをここの道路の街路樹があるその周りに植えんねんとかいう、ここの基地でできたやつをどこで咲かすんかという物語があればやりがいがあるのに、あそこで終わってしまうと。

例えば、榎本でもそうしたいというてんけど、なかなか道路の使用権限というか許可が出ないということで、要らんもん置かんといってくれという話になったりとかいうふうなことになって、結局は会館や小学校に持って行っている。

それから、種花事業の基地として区内を花だらけにすんねんということが実現していないということが、やっぱりここが種花の基地なんだというところでの参加の苦勞みたいなものが見えない、報われるという形で見えないということになってんのちゃうかなというふうに思ってて、やっぱり花と種を育てるというところに人が集まらないんじゃないかって、ここで作った苗がどこで花になってますよということを最後まで区役所は面倒を見て、僕らが言ったのは街路樹の土ありますやん、木があって、そこへ植えさせてもらうとかいうふうなことをいうたら、許可をとられへんのかというのは、最初のころ随分言うてたんですよ。

せっかく生えたやつを小学校にやってみると小学校は喜ばはるけど、それまでの話で物語にならへんのですね。小学校に花はいっぱいあるんですよ。だから、町中花になってない。種花の最初の構想がやっぱり実現してないというか、そこでは同じ市やねんから、ちょっと結論のところを、どこで咲かすんかというところでの責任を大阪市の最後まで、区役所が最後まで責任とってへんのんちゃうかというのは、この最初のころの立上げのときにかかわった者としては、同じように水をやりながら話をしてたことです。

○奥本課長 そうですね。その道路のところの街路樹については。

○宗宮委員 榎本でやろうと思ったらそんなんあかんって言われました。

それができるというような筋道はやっぱり行政の側でとるというふうなことをしてもらおうとかね、僕らが思いつきで言ってるだけの話で、基地なんやと、その苗をどこへ持って行くねんというところまで、やっぱり区役所が面倒を見てくれへんかったら、楽しみ半分ですよ。

○奥本課長 おっしゃるとおりそうですね。学校とかなかなか住民が見えないとこ

ろに持って行かれるよりは、街路樹とか道路とかで花がきれいになってきたらこれは種花活動ですよ。P Rすれば効果的で非常に参加者の方もやろうかなと思われる。おっしゃるとおりですよ。

○筒井課長代理 例えば淀屋橋の周辺の御堂筋でも道路の交差点のところにコーナーがあって、そこにいろいろ花を植えたりされてるんで、決して道路上に植えたらあかんということには多分なっていないはずなんで、それは市の中で再度確認させていただきます。

○宗宮委員 その筋道までは、僕らがやるんやなくて、ちょっと区役所で責任をとってほしい。

○筒井課長代理 それはもう行政の中の話ですので、確認し、調整させていただきます。

○林委員 それはどれぐらいの面積、僕も勉強不足であれやけど、何本ぐらい花が植わってるんですか。その畑みたいな感じですね。

○宗宮委員 ポットの数は正直言って年々ちょっと減ってますよね。最初ポットの数ものすごい数やったんですけどね。

○林委員 ものすごい言うたらそれが100なんか1,000なんか1万なんかわからへんけど。

○奥本課長 種花活動で今、植えている花の数ですね。

○林委員 うん、数とか種類とか言うたらどれぐらいの。

○宗宮委員 減ってきてる。

○筒井課長代理 400ポットぐらいです。

○林委員 400。

○筒井課長代理 それを年2回ですね。

○西田部会長 400何ぼもろてますわ。

○奥本課長 1地域大体400株です。

○宗宮委員 それならその１２。

○林委員 会館の前にずっと並べといて、福祉会館に来てくれはったら、わあ、きれいやな言うて皆言うて。

○宗宮委員 福祉会館はね、やってますよね。

○林委員 やってんねんで言うて、入ってや言うて皆声かけしてはりますけどね。

○安間委員 最終的に道路とかそういうところへやるのが目的なのか、各家庭にそれを配ってヨーロッパのきれいな花が植わってる家がありますわな。ガーデンとか、そういうところの場合は出窓があってそういうところにポットを置いてざっと垂らしてみるとかいうような形で、全部の民家がそういうふうになれば非常にきれいと思うんやけど。そういうふうなことにしようとしているのかによっても、コンセプトが変わってきますわな。だから最初からどうしようとしていたかという企画が私はちょっとわからないんですけれども。

○奥本課長 種花活動の目的といたしましては、町の美化とかうるおいのある花と緑のまちづくりを推進するということと、花に愛着を持って地域に親しむという形ですね。

○萩副区長 最初のころは、やっぱり持って帰ってはりました。自分とこの玄関に置くとかね。そういうのが結構多かった。

○安間委員 前、花博の会場あったころか、鶴見でも３０周年とか何かでみんなばあっとこう。何ていうの。

○萩副区長 プランターですね。

○安間委員 プランターに植えて各自持って帰ったり何かして置いてましたわな。それがたくさんあるときはきれいかったように思うんやけど。なかなか毎年続かへんというようなことになるんかどうかですけどね。

○河村区長 今年はこういうパンフレットをつくって、種花事業の由来というか、意味合いとか、具体的に何やねんというのをＰＲをしてるんですけどね、そういったこ

とがもっと全体的にわかるように、例えば道路に植えるにしてもこれは今津の基地生まれの花やみたいな、例えばね、あればもうちょっと愛着もわいてきて意味がわかるのかなというふうに思いました。

○西田部会長　　7月ごろに皆、各入れ物にしてみましたね。

○奥本課長　　そうですね、はい。

○西田部会長　　そう思います。植えかえたりして。各自治会館には皆さんきれいにしてくださる、会館とかね。それ以外に、余り言うたらおかしいけど、たくさんあれば、私もそうやけど、一つもらって帰って家の前へ置いてますけどね。通りに飾ってるけどね。うちの前でよくしてあるやろ。それも帰り際一つ持って帰っておいてあるけどね。

○奥本課長　　そうですね。非常に暑い中を水やりしていただいて、皆さん頑張っていていただいてまして、この活動は広がっていけば区のイメージである花と緑というまちづくりのコンセプトに。

○西田部会長　　それは女性会が主体でやってますのでね。その前にね。

○奥本課長　　はい。

○西田部会長　　それから今さっきも何回も言うけど、年いってて今津まで行かれへんからうちらの場合、特に川からこっちのほうに。危ないからね。

○奥本課長　　はい、今津橋のところですね。

○西田部会長　　できるだけそういうところがあればありがたい。いいんやけどね。

○安間委員　　畑がなくてもええんか。こんな鉢植えでやってるんやったら。

○西田部会長　　そうそう。

○安間委員　　何か倉庫みたいなところ。

○西田部会長　　あれな、あの前に会館あるわな。

○宗宮委員　　トモノスさんが。

○西田部会長　　はいはい。

○林委員 トモノスの前に、夏場で。

○宗宮委員 雑草や殻がいっぱいあるところを掃除して、菜の花植えて。

○筒井課長代理 ちょうど鶴見緑地の西側で今、施設があいているところがございますので、そこを使わせてもらってできないかということで今、調整させていただいています。

○西田部会長 お願いします。

○筒井課長代理 そこでは昔、散水もできてましたので、そういった施設が使えるのかどうかの確認も含めて今、させていただいてます。

基本的にどの植栽も大阪市が責任をもってするんですけれども、どうしても地域のほうでこのあたりに植えたいということであれば、必ずだめということにはなってないはずなので。あと、鶴見緑地のちょうど駅前の花壇も、あれは公園の中なんですけれども、そこを借りて、こちらのほうで植えていただいて花を咲かせていただいていますので、大阪市の中でだめということには多分なってないはずなんで、その確認をさせていただきます。

○河村区長 公園が植えてると思われてるかもしれんしな。

○筒井課長代理 種花で植えてますと看板もつけて鶴見緑地の駅前はやってるんですけどね、はい。

○西田部会長 ほかどうですか。よろしいでしょうか。時間のほうも過ぎましたので。

○大原委員 1点だけいいですか。ちょっとだけいいですか。

ちょっとこれお願いというか、実行いただきたいことなんですけど、スポーツフェスタの件、ちょっとしゃべってもいいですか。いつもサッカーをやっていただいているんですけど、ちょっと細かい話なんですけど、サッカー以外のやつというのはあるんですけど。

○奥本課長 2年前に、スポーツフェスタということで、サッカーとバレーとテニ

スです。これを緑地内のテニスコートとかスポーツセンター、球技場を使ってその3種目を2年前はやらせていただきました。夏の8月ですけど。

○河村区長 去年やで。

○奥本課長 去年の8月です。すみません。

○大原委員 前の人からもあった話なんだけど、それ以外のスポーツもやっていただきたいという声があったのがまず1点と、つる魅力のアップというところであるんだと思うんですけど、そういった教えてくださる方、例えばサッカーだったらセレッソの方とかいましたかね。

○奥本課長 そうですね。

○大原委員 鶴見出身の方とかがいるんだったら、そういう方に教えてもらおうと、自分らの区の中にこの人が、巣立っていった人がいるんだという意味でプラスになるんじゃないかなということと、例えばラグビーなんかでしたら、清宮さん有名な方なんですけど。

○奥本課長 茨田高校出身ですね。

○大原委員 そうですね。茨田中学出身ですね。茨中、茨高やったと思うんです。例えば、そういったラグビーでも有名な方はいますし、ソフトボールとかでも女子の方やったら実業団に入っている方もいらっしゃるって聞いてますし、バレーでしたら東洋の魔女もいたんですかね。

結構、鶴見の有名な方がたくさんいらっしゃるので、そういった方たちが講演会であったり、教えるとかそういうのをやれば、いいモチベーションになるのかなというのを思ったりするので、そういったことももしできるんだったら、向こうも地元だったら安いし、安く来ようかなと来てくれるかもわからないんで、そういうのを考えていただいてもいいかなという。

○奥本課長 そうですね。小学生も、中学生もそうなんでしょうけども、本物に触れるというのは非常にいい体験だと思います。おっしゃられたみたいに、そういう体

験をすることによって夢を見れるような形になりますし、職業についても実感するようなどころもありますので、イベントとしては非常によかったかな、参加者の子たちの満足度が非常に高く、スポーツイベントとしては大分成功したと思っています。スポーツ施設指定管理者さんがいらっしゃいますので、その指定管理者さんといろいろとお話をしていって、これから検討していこうかなと思います。

○大原委員 お願いします。

○西田部会長 よろしいか。それでは、一応意見のほうも出てお聞きしましたんで、これぐらいで終わりたいと思います。

それでは、予定されている議題はこれで終わります。なお、これが最後ということで、冒頭に申しましたように皆さんには大変ありがとうございました。

最後ですが、一言ずつ挨拶してもらおうかなと思いますので、木村さんのほうからこう回ります。

一言で結構です。区政会議の委員に入ってもらって何かありましたらどうぞ。なんでも結構です。

○木村委員 そうですね、どうもありがとうございました。

区がやっているといいますか、ボランティアとかみんないろいろやってはる内容がもともとよく把握できてなかったんですけども、ちょっとはわかったかなと、また人に聞かれてもわかる範囲では説明できるかなと。だからそういうことがあったんで、こういう委員にもどしどし参加して、みんなちょっとでもわかるようになればもっともっとよくなると思うんで。1年ありがとうございました。

○西田部会長 大原さん。

○大原委員 あまりいいことを言えなかったと思うんですけども、自分もこういった地域の活動に興味を持てるようになりましたし、また何か今後、鶴見区のためにやっていけたらいいなと思えるきっかけになりましたんで、いい経験をさせていただきました。どうもありがとうございました。

○西田部会長 ご苦勞さまでした。安間委員。

○安間委員 途中で日にちが合わなくて、1回か2回か欠席させていただいたかなと思うんですけども、ちょうど最後に寄せていただいた。ただ、前からも少し申し上げていますように、そのどんどん進むスピードが、ちょっと我々経営者的な感覚から言ったら遅いなという感じがしますので、もっとスピードを上げていかないと、1年たって何か一つかぐらいやったかなで終わってしまうような感じがしてるんで、もうちょっとスピード感覚はお願いしたいと。

例えば、今、たまたまこういうあれいただきましたけども、何かうちにも回覧板できてるかもわからんですけど、家内がずっとほかへもう回してしもたんかどうかそれもわかりませんねんけど、できたらこういうこれに関するあれやったら我々にこの数名しかおらのやったら、直接ダイレクトしてもらってもいいんかなというような気がするんですけどね。こういう第1部会の関係のものですというようにしたらそれなりに見るんかなというような気もしたんで、それも一つのPRかなというような気がするんですけどね。よろしくお願いします。

○西田部会長 ありがとうございます。

私のほうから、皆さんにはいろいろとお世話かけました。まだまだいろんなことで皆さん方と検討していかないといけない点、話し合いをする点があります。それは来期の区政会議ですることとして、とりあえず第1部会の皆さん方にはいろいろとお世話になりました。本当にお礼申し上げます。ありがとうございます。

○藤井委員 大変いい経験をさせていただきました。長いようですけども、あっという間の2年間で、区の本当にわかっているようでわかっていないことがたくさんあったんですけども、こういう会議に参加させていただくことで、区のことをよくわかってきたと思います。これを機会にもうちょっと興味を持って、これからも何か協力できることがありましたら、これからも頑張っていきたいと思いますので、今日はありがとうございます。

○西田部会長 ありがとうございました。

○林委員 私が一番勉強不足でいろいろと勉強させていただきましてありがとうございました。

○宗宮委員 私、途中から参加で、勝手もわからずにちょっとピントはずれなことを言ってたかもわかりませんが、この会議に参加して相当な情報を開示されているんだなというのをちょっと正直言って驚きました。

こうちやうかと思っていたことが具体の数字を挙げてこう書いてある内容を見て、ものすごい勉強になったということでもいい経験させていただきました。

僕はまだ消化しきれてないから、ええかげんなことを言うたらあかんのやと思いながら、ここで聞いたやつというのはできるだけおしゃべりにならなあかんのかなという感じがあって、区政にかかわる情報がここまで開示されてるんやったら、もっと地域でこういうことまで区役所が言うてるよ、出してるよということをもっとおしゃべりにならなあかんなというのを参加して思ったということです。

○西田部会長 はい、ご苦労さんでした。ありがとうございました。

それでは、最後まで皆さん方の活発なるご意見どうもありがとうございました。

本日は土岐議員さんもおいでですので、議員さんのほうから一つ。

○土岐議員 どうも皆さん、長時間熱心なご議論いただきまして大変ありがとうございました。27年度の事業が行われている中で、来年度の方向性ということで、なかなか大変な部分もあるのかなと思っておりましたけれども、貴重なご意見をいただいて感謝をいたしております。

区役所の方々におかれては、そういったこの間のご意見・提案等、27年度の事業の途中ではありますけれども、取り入れるところは取り入れていただいて、28年度の方向性も大体、今年度と流れが続いているような感じがいたしますから、どういう形で総括してこのさまざまな委員の皆さんのご意見を形にしていけるのか、よく検討していただきたいというように思っておりますので、よろしくお願いいたしたいと思

います。

各委員の皆さん、2年間、大変お疲れさんでございました。ありがとうございました。

以上でございます。ありがとうございました。

○西田部会長 それでは、閉会にあたりまして河村区長から一言お願いします。

○河村区長 今日は皆さん本当にありがとうございました。

また、2年間ということでお世話になりました。私自身となるというと1年半のお付き合いということでございますけれども、本当にいろんな貴重な意見、役所の中にただけではわからない意見をいただきましてありがとうございました。

今日いただいた意見を参考にさせていただいて、また次のステップに進んでいきたいというふうに思っております。

特に、いろんな事業をやっているということなんですけれども、やっぱりご意見の中にもあったように、それぞれの事業が発展していくものもあれば、変えていかなくてはならないものもあると思いますし、イベント自体が自立していくというんですね、そういったことも大事だと思います。

これちょっと別の部会の話になるんですけれども、春に高校生の軽音楽コンサートというのをやっていまして、鶴見緑地の中の三つの会場を使ってやっているんですけど、大阪府下の30校ぐらいの学校から毎年オファーがあって、年々増えてましてね、断るのが大変みたいな状況になってまして、その軽音楽の合間には清掃活動ということで、ダスキンさんに協賛いただいて、ゴミ袋を配っていただいてそれで鶴見緑地のゴミを拾って回るといったようなことがもう定着してまして、この時期にはこれをやるんやというふうなことでなってます。

一例ですけども、そんな形でほかの事業も、役所がかまなあかん部分がかまなあかんと思うんですけれども、次に渡していけるというか、ほっといてもそれを進化していくというようなことができれば一番いいと思いますので、少しでもそういうふう

な方向にいけたらなと思っております。

これはできるかどうかわかりませんが、役所が行って事業をすることになると、専ら持ち出しの部分になってしまって、予算を使っているだけということになってますので、そこで何か金もうけみたいなんができればね。例えば、そこで一定の収益を役所のほうが取れば、それをまた区の予算に還元できるというようなこともあろうかと。ただこれはなかなか難しいところがあって、例えば民間の事業者さんに一定の運営を委ねるとかそういったことも含めて、また今後考えていきたいというふうに思います。

ということで、本当に２年間ありがとうございました。また、お世話になることがあると思いますが、よろしくお願いします。

○西田部会長 それでは、皆さん本当に２年間、いろいろとご意見いただきまして円滑に進めたこと、部会長としてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

以上、これをもちまして終わらせていただきます。どうぞ皆さんこれからも気をつけて。ありがとうございました。

閉会 ２０時１７分